

(課題名:生体群制御による養殖効率化システムの開発)

(研究開発機関:炎重工株式会社/事業化支援機関:株式会社経営共創基盤)

補助事業の成果の概要

技術開発課題の概要

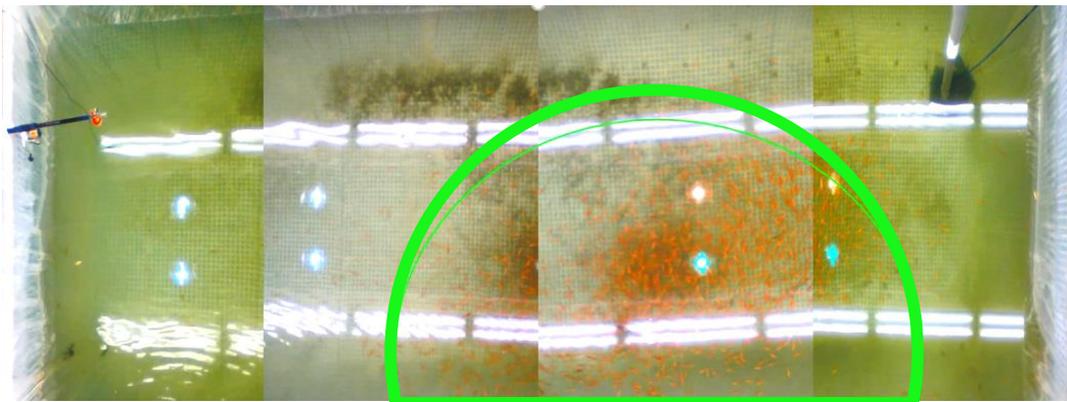
- 養殖用の生け簀内の魚群のモニタリング及び誘導を実現する次世代の養殖システムの開発を目指す。

I-Challenge! における成果

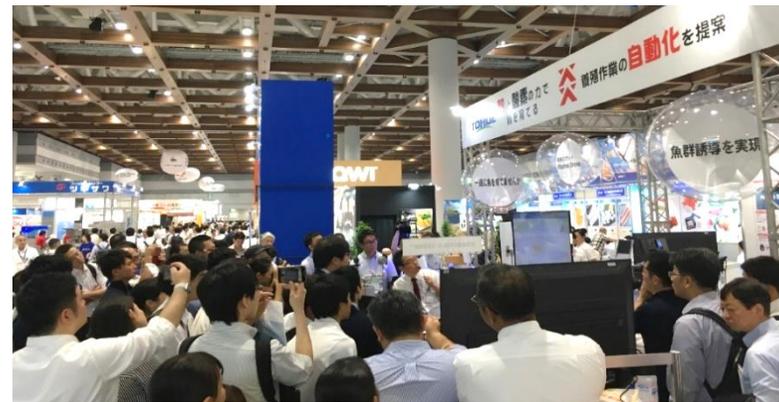
- 令和元年度は、平成30年度の成果である大型水槽、専用電極及び制御基板を用い、水中の任意の位置へ魚群を誘導・固定することの検証と、信号生成及び誘導アルゴリズムの改良を行った。
- 付随して、インターネット・有線・無線等のネットワーク経由で遠隔操作するための通信システム及びマウス操作等で簡単に任意の位置へ誘導するためのユーザ・インターフェースを構築した。
- さらに、8月の国際養殖技術展2019にて本成果を公開し、養殖事業者及び水産事業者に本技術の導入可能性に関するヒアリングを行い、現場での課題認識及び強い需要が存在することを確認した。

事業化支援機関からのコメント（支援を行うことを決めたポイント、行った支援等）

- 養殖業効率化において斬新な技術アプローチであり、増資の引受及び事業開発、資金調達支援を行った。



約3,000匹の和金を遠隔操作 かつ 非接触・非侵襲の制御により任意の位置（円の内側）に誘導したときの様子



国際養殖技術展2019にて、会場での水槽実演及び岩手県滝沢市の大型水槽を遠隔操作したときの様子